

第3期計画期間以降における公共建築物の老朽化対策の取り組み概念図

公共建築物の老朽化対策の取り組み

第2期
計画期間以前

今後の事業実施が困難

公共建築物の老朽化

以下の施設が増加している

- ・建築後30年以上経過
- ・劣化状況評価と健全度が悪化

事業費の増加

- ・労務単価、資材高騰
- ・社会環境の変化への対応

財源の確保が厳しくなる

- ・人口減少
- ・少子高齢化 の深刻化

第3期
計画期間以降

事業実施の 優先順位・方法の見直し

総量圧縮
の推進

長寿命化
の推進

実行性の確保

共有・共感の
環境づくり

庁内各組織の
責任の明確化